

鋁工業指数参考図表集
(平成30年10月速報)

平成30年11月30日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成30年10月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

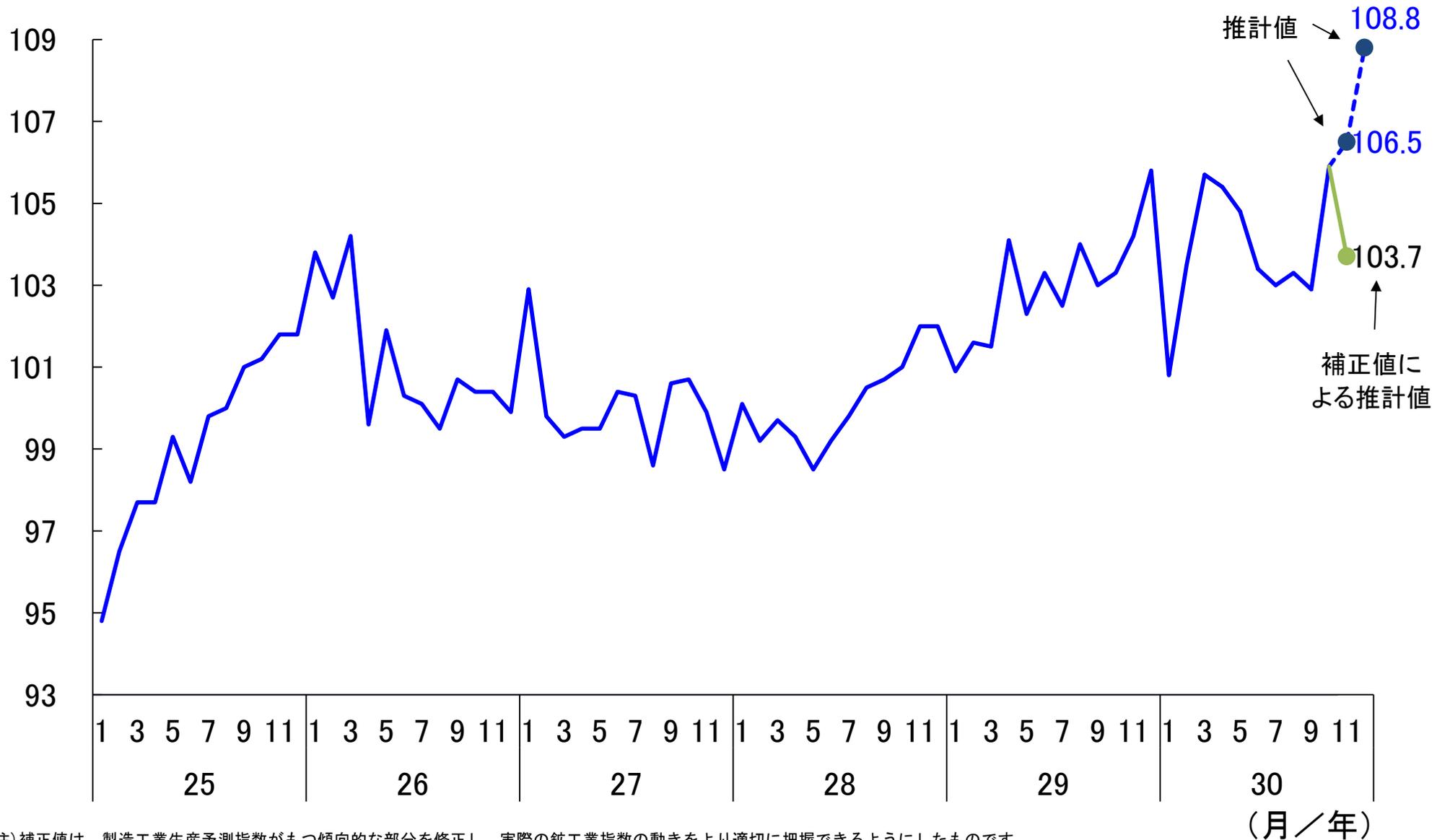
生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	105.9	106.6	101.2	97.4
前月比	2.9%	5.4%	-1.4%	-7.4%
指数水準	27年基準最高水準 I H30.10 105.9 II H29.12 105.8 III H30.3 105.7	27年基準最高水準 I H30.10 106.6 II H26.3 105.7 III H29.12 105.4	H30.2 100.8以来 ①H26.3 95.3 ②H25.11 95.6 ③H25.8 96.2	H28.11 96.7以来 ①H26.3 89.1 ②H25.11 90.8 ③H26.1 91.8
前月比の動き	2か月ぶり+ (H30.8以来)	2か月ぶり+ (H30.8以来)	2か月ぶり- (H30.8以来)	2か月ぶり- (H30.8以来)
前月比幅	H27.1 3.0%以来 I H27.1 3.0% II H30.10 2.9% III H30.2 2.7%	27年基準最高水準 I H30.10 5.4% II H27.1 3.1% III H29.11 3.0%	H30.6 -1.7%以来 ①H25.11 -2.2% ②H28.10 -2.0% ③H26.3 -1.8%	27年基準最低水準 ①H30.10 -7.4% ②H30.2 -5.1% ③H26.3 -4.4%
前年同月比(原指数)	4.2%	7.7%	-0.8%	-8.3%
前年同月比の動き	2か月ぶり+ (H30.8以来)	2か月ぶり+ (H30.8以来)	13か月ぶり- (H29.9以来)	13か月ぶり- (H29.9以来)
前年同月比幅	H29.6 4.2%以来 (超)H29.5 5.3%以来 I H26.1 10.0% II H26.3 6.7% III H26.2 6.6%	H26.1 8.2%以来 I H26.1 8.2% II H30.10 7.7% III H26.3 6.2%	H29.9 -1.0%以来 ①H26.3 -4.1% ②H26.1 -3.8% ③H26.2, H28.11 -3.6%	H26.3 -9.5%以来 ①H26.1 -10.5% ②H26.3 -9.5% ③H30.10 -8.3%

1) I～IIIは27年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(27年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるようにしたものです。

平成30年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	汎用・業務用機械工業	6.9%	18.2%
	品目	ポンプ・圧縮機器	16.7%	8.9%
		ボイラ・原動機	11.6%	4.6%
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	8.6%	17.0%
	品目	電子デバイス	31.3%	9.5%
		電子部品	8.9%	3.8%
3位の業種	自動車工業	3.1%	17.0%	
品目	乗用車	4.0%	10.3%	
	車体・自動車部品	3.1%	6.7%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	-3.1%	-8.7%
	品目	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	-16.8%	-12.4%
		その他の生産用機械	-4.9%	-2.8%
	2位の業種	石油・石炭製品工業	-5.3%	-2.0%
	品目	石油製品	-5.6%	-2.0%
		—	—	—
3位の業種	—	—	—	
品目	—	—	—	
	—	—	—	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成30年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	4.0%	10.3%
	2位	電子デバイス	31.3%	9.5%
	3位	ポンプ・圧縮機器	16.7%	8.9%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	-16.8%	-12.4%
	2位	その他の生産用機械	-4.9%	-2.8%
	3位	金属加工機械	-6.3%	-2.7%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.4%	67.6%
		アクティブ型液晶パネル（中・小型）	71.1%	7.6%
		航空機用機体部品	22.5%	3.3%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	4.3%	13.1%
		普通乗用車	5.0%	8.4%
		小型乗用車	9.2%	3.3%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	1.7%	8.2%
		ショベル系掘削機械	15.5%	5.5%
		水管ボイラ	138.8%	4.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.6%	3.6%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	69.4%	6.3%
		ビール	7.4%	1.5%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.8%	1.6%
		アルミニウム製建具	2.1%	0.4%
		鉄骨・軽量鉄骨	3.3%	0.3%

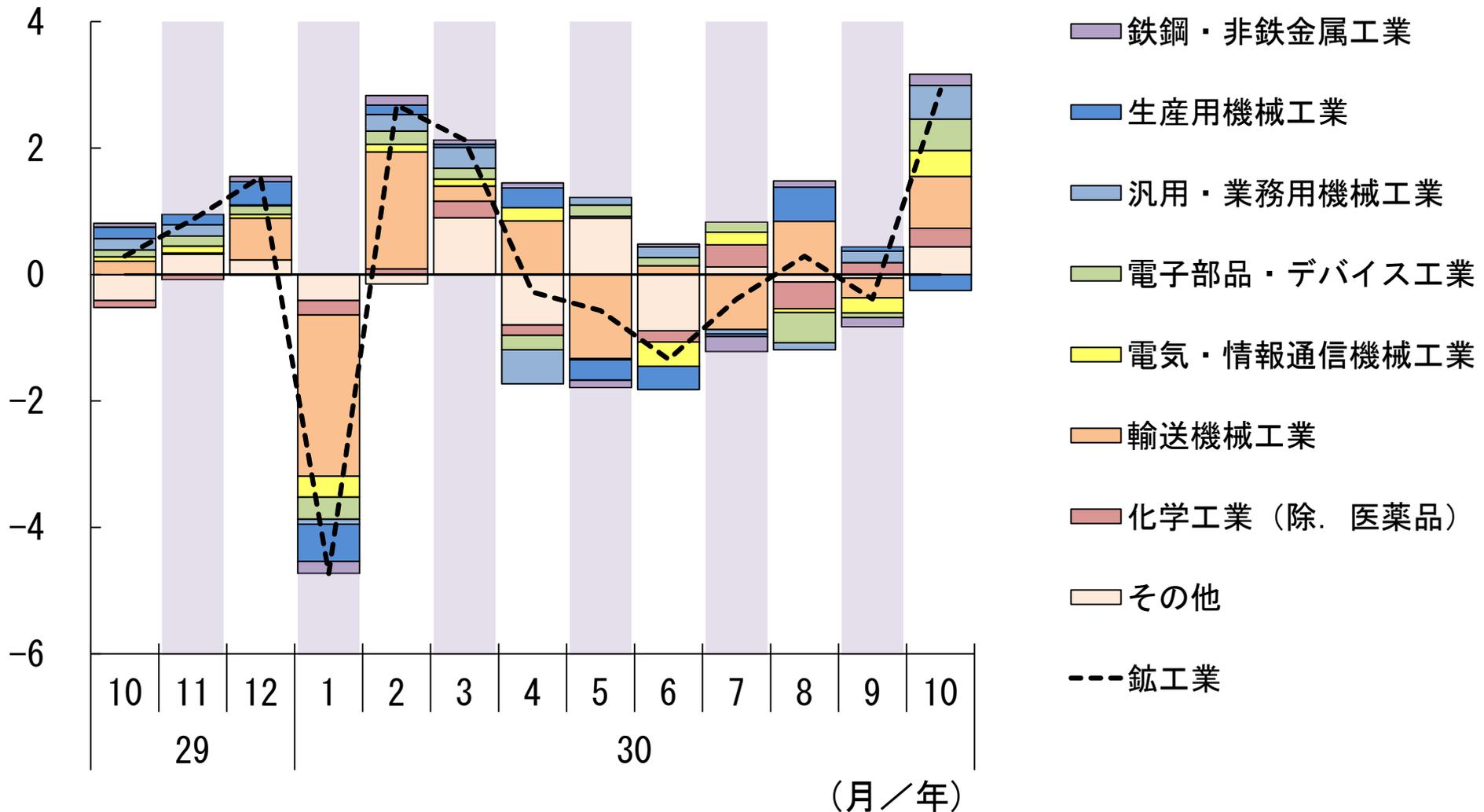
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成30年10月の生産指数は、生産用機械工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比2.9%の上昇。

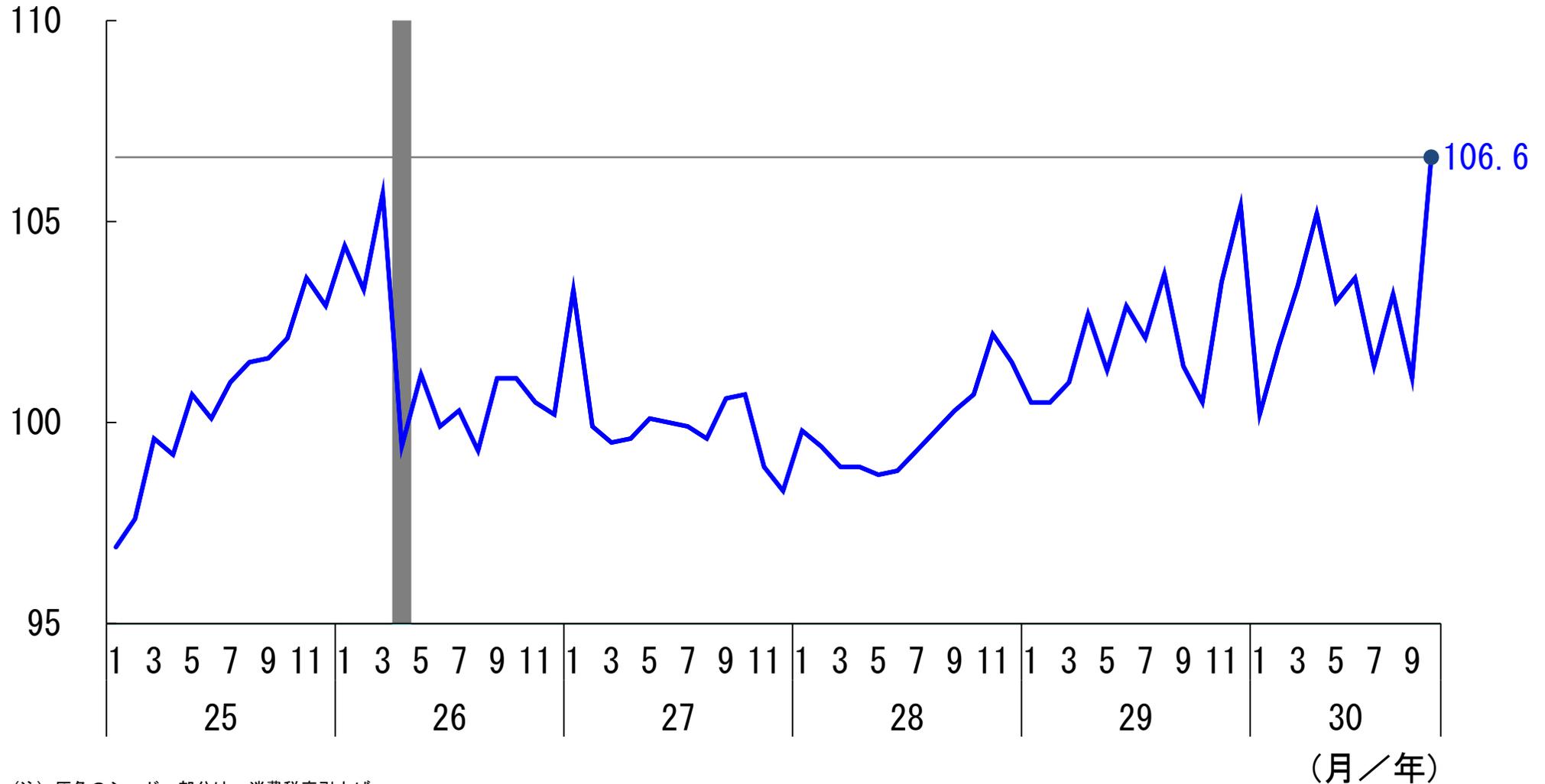
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成30年10月の鋳工業出荷指数は、106.6(前月比5.4%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成27年基準(平成25年1月以降)の最高水準。

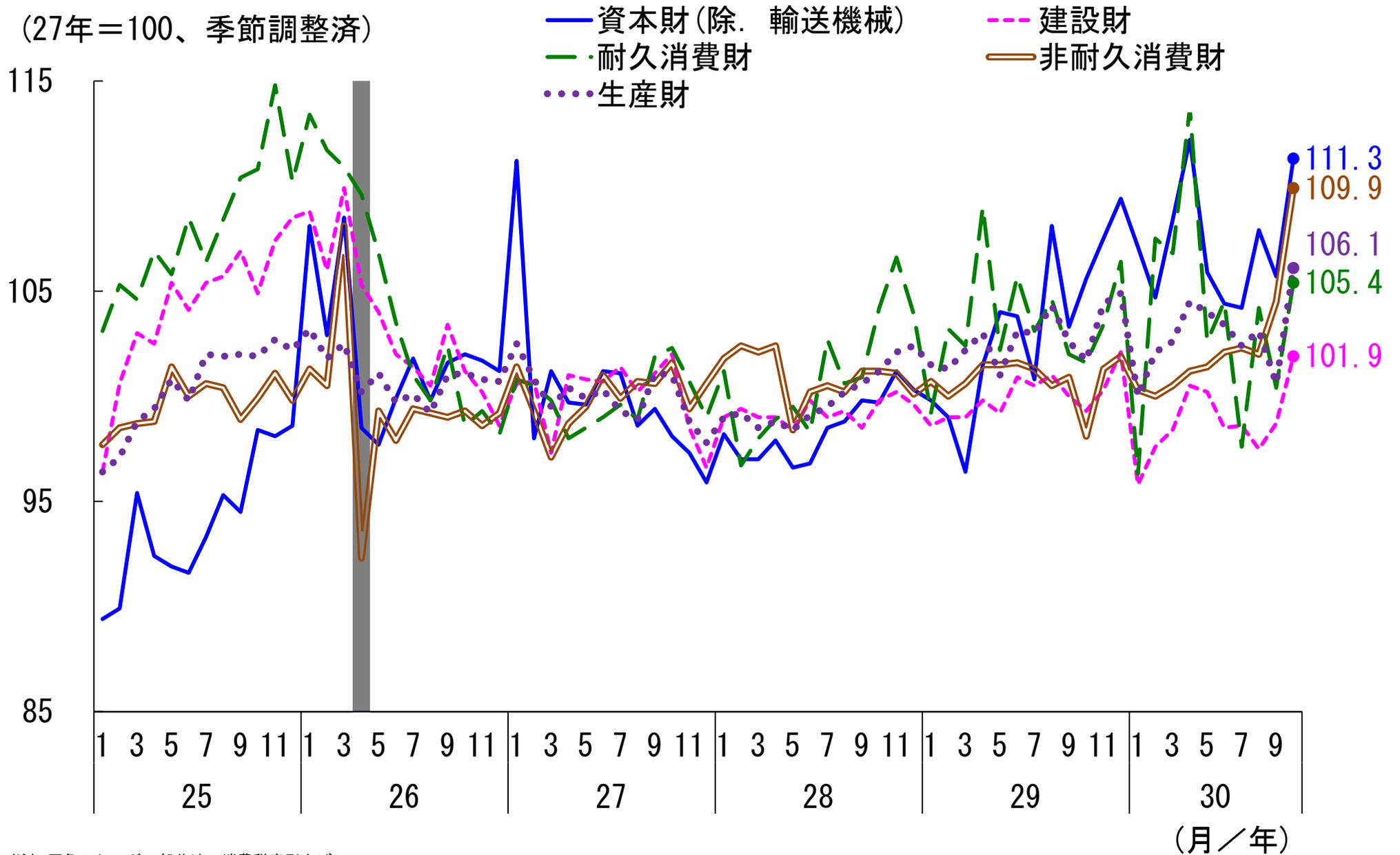
(27年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

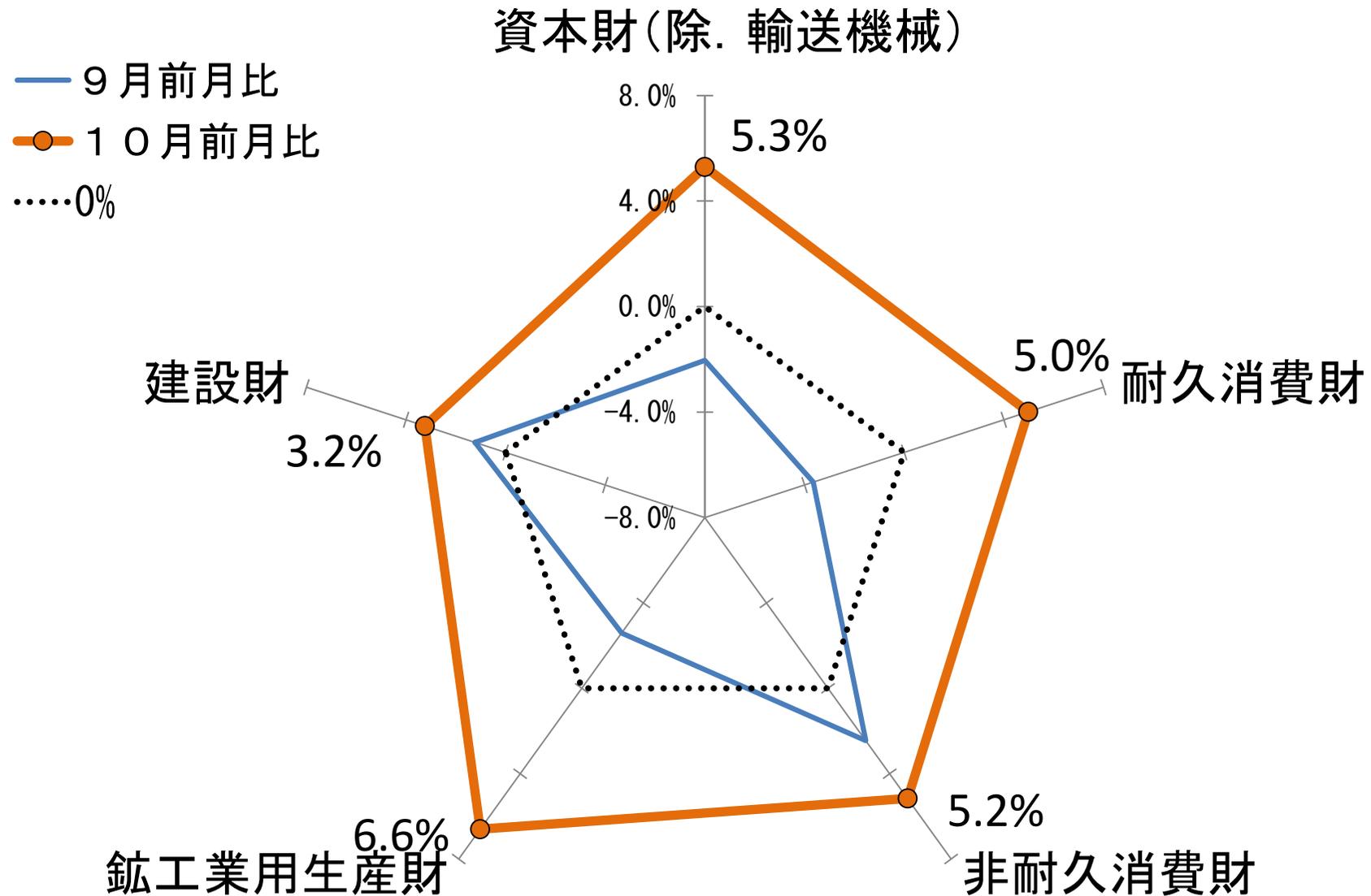
財別出荷指数の動向

(27年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成30年9月、10月）



平成30年10月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

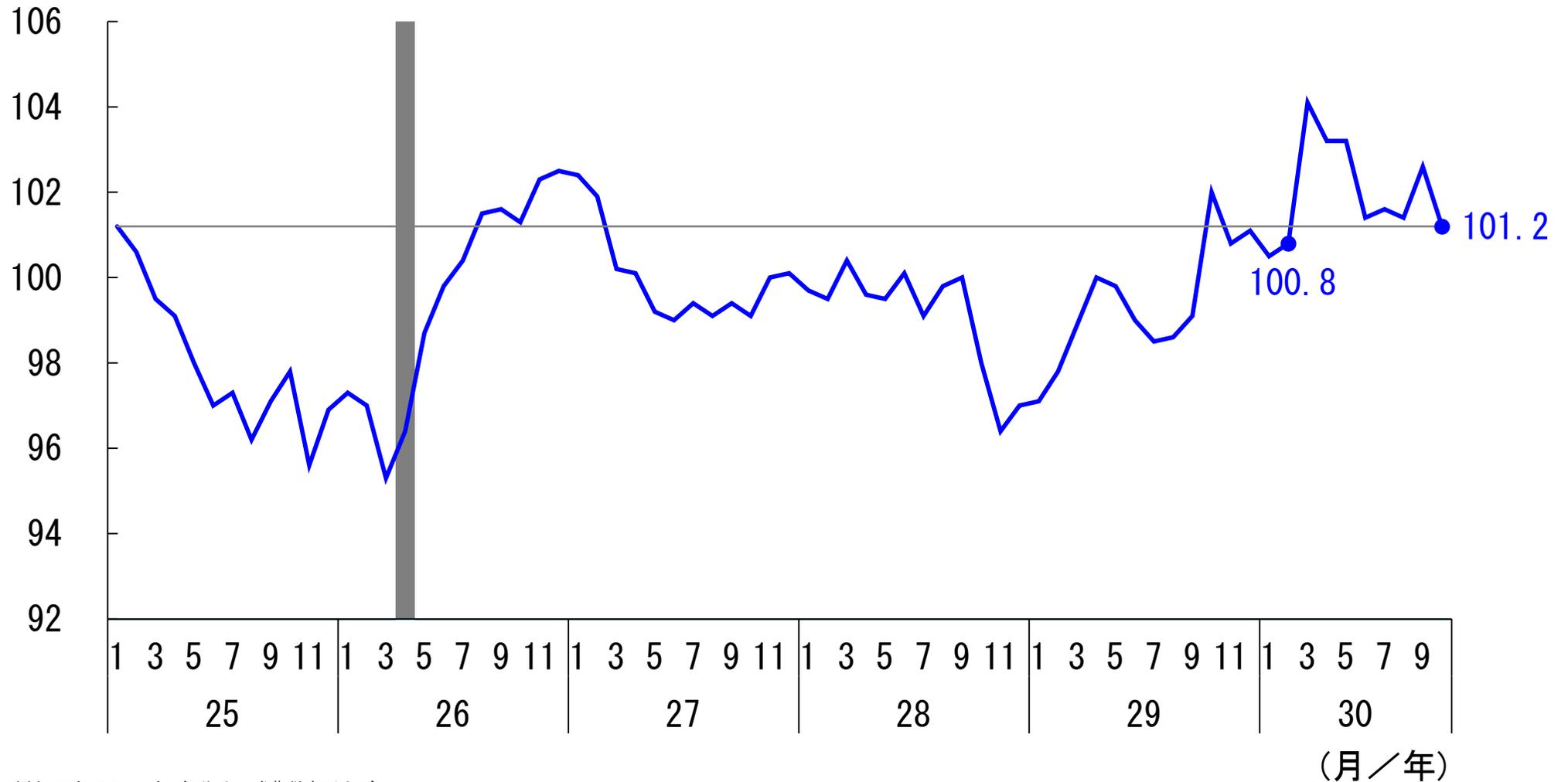
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	5.5%	52.3%
		アクティブ型液晶パネル（中・小型）	84.0%	6.1%
		普通鋼鋼帯	26.1%	3.0%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	5.2%	15.8%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	70.8%	1.3%
		仕上用化粧品	13.4%	0.7%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	5.3%	11.8%
		ショベル系掘削機械	40.4%	6.9%
		水管ボイラ	140.1%	2.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	5.0%	9.1%
		普通乗用車	3.9%	4.0%
		小型乗用車	11.3%	2.5%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	3.2%	3.3%
		普通鋼熱間鋼管	25.8%	0.6%
		普通鋼H形鋼	22.1%	0.5%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

- ・平成30年10月の在庫指数は、101.2(前月比-1.4%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成30年2月の100.8以来の指数水準。

(27年=100、季節調整済)

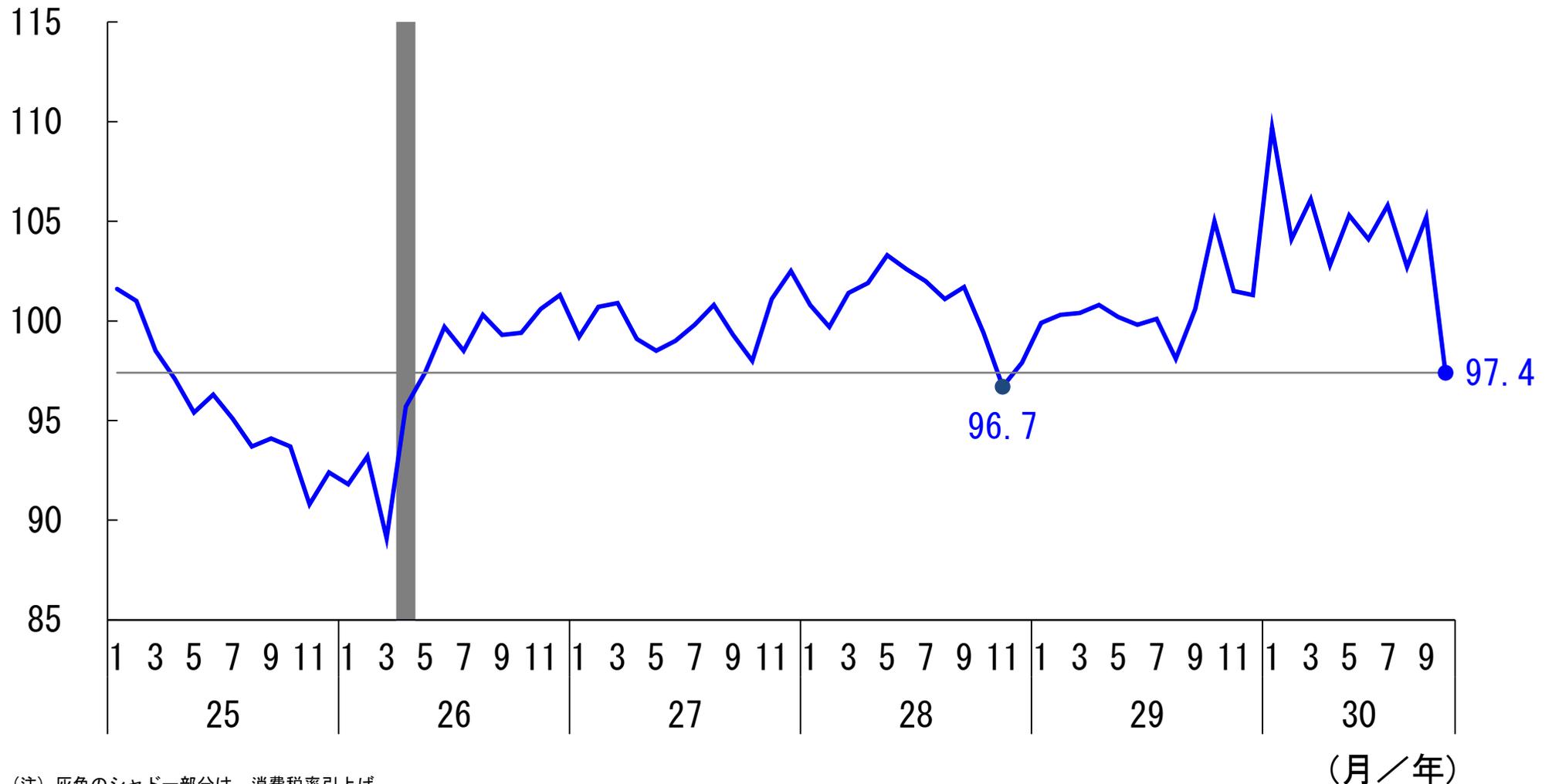


(注) 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

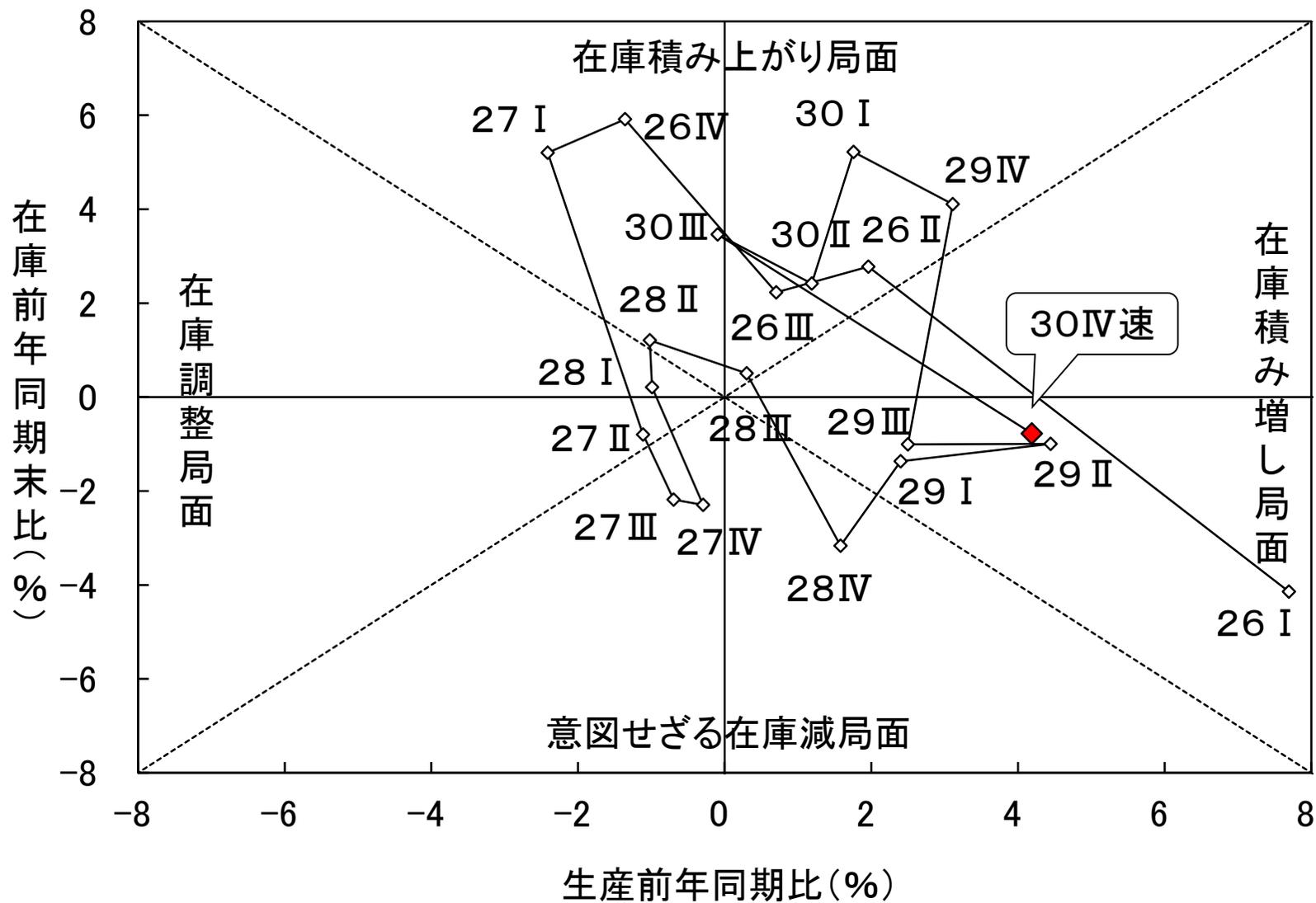
鋳工業在庫率指数の動向

- ・平成30年10月の在庫率指数は、97.4(前月比-7.4%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成28年11月の96.7以来の指数水準。

(27年=100、季節調整済)



鉱工業の在庫循環図



(注) 「30IV速」の生産は10月の値、在庫は10月末の値を使用。

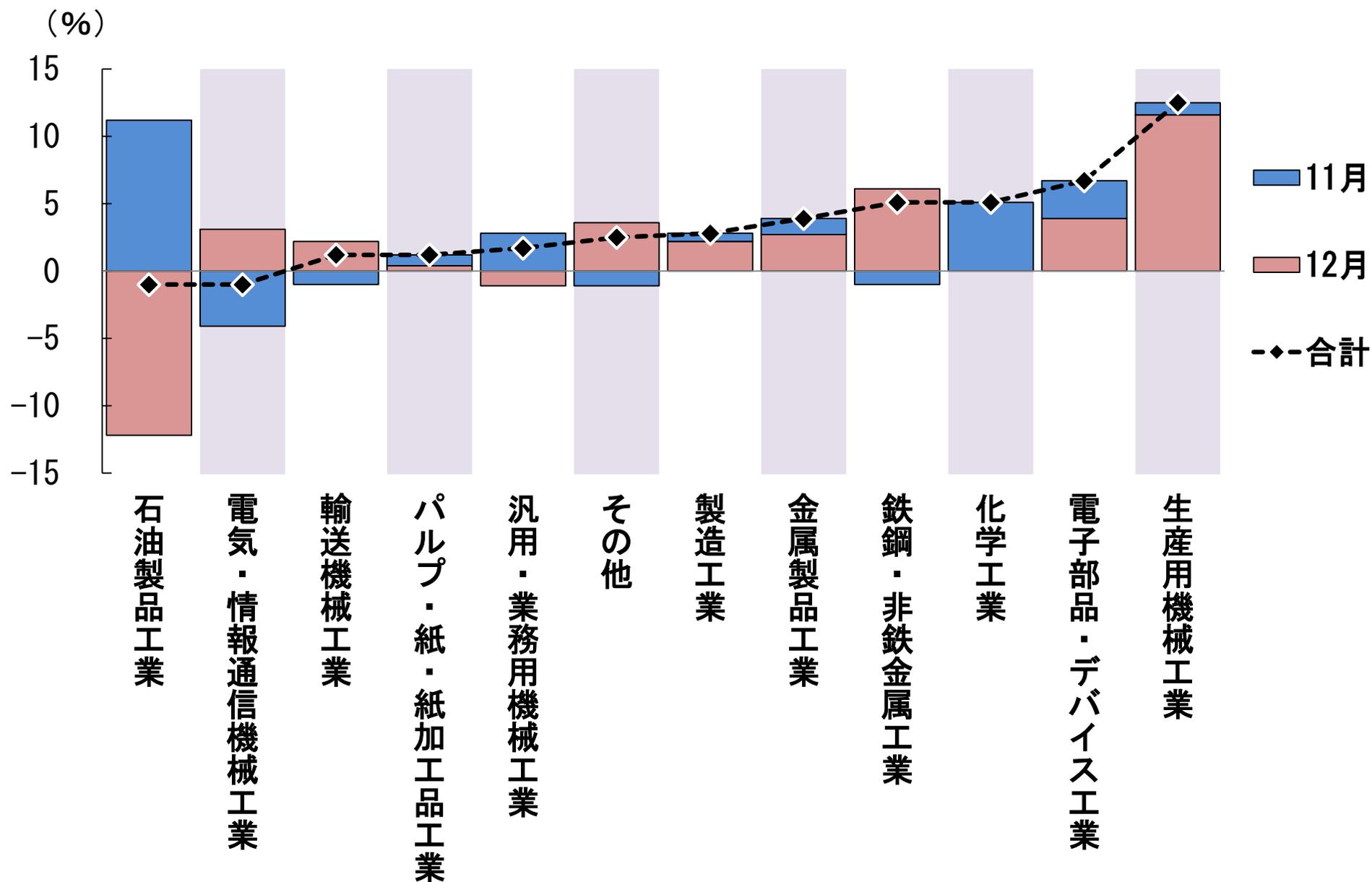
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	平成30年11月見込み	平成30年12月見込み
平成30年11月調査(今回)	0.6%	2.2%
平成30年10月調査(前回)	-0.8%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
11月前月比	-2.1% (-3.1%~-1.1%)	0.6%

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成30年11月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	5.1%
汎用・業務用機械工業	2.8%
電子部品・デバイス工業	2.8%
石油製品工業	11.2%
生産用機械工業	0.9%
金属製品工業	1.2%
パルプ・紙・紙加工品工業	0.8%

低下寄与業種	計画前月比
鉄鋼・非鉄金属工業	-1.0%
その他	-1.1%
輸送機械工業	-1.0%
電気・情報通信機械工業	-4.1%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成30年12月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	11.6%
輸送機械工業	2.2%
鉄鋼・非鉄金属工業	6.1%
電気・情報通信機械工業	3.1%
電子部品・デバイス工業	3.9%
その他	3.6%
金属製品工業	2.7%

上昇寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	0.4%
化学工業	0.0%
低下寄与業種	計画前月比
汎用・業務用機械工業	-1.1%
石油製品工業	-12.2%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

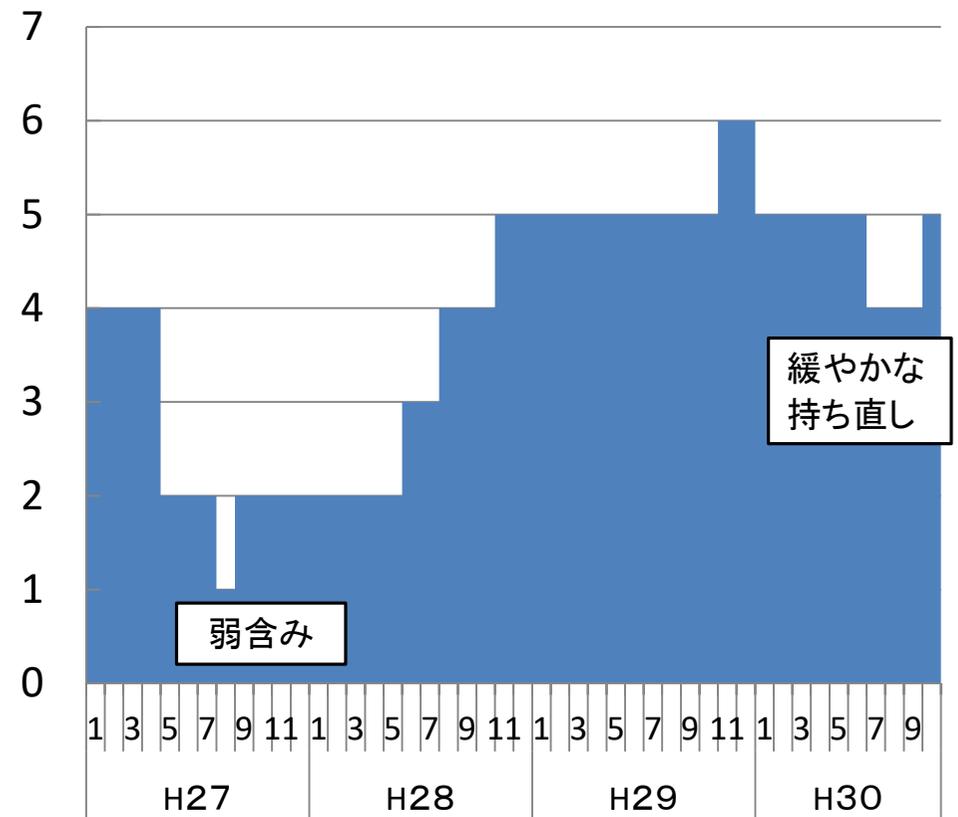
平成30年10月の鉱工業生産の基調判断

「生産は緩やかな持ち直し」

基調判断の推移

- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～平成29年10月
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成29年11月～平成29年12月
「生産は持ち直している」
- ・平成30年1月～6月
「生産は緩やかな持ち直し」
- ・平成30年7月～9月
「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・平成30年10月～
「生産は緩やかな持ち直し」

基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。